



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年11月14日

上場会社名 株式会社光ハイツ・ヴェラス 上場取引所 札
 コード番号 2137 URL <http://www.varus.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)森 千恵香
 問合せ先責任者 (役職名)財務経理部部长 (氏名)前田 寿徳 (TEL)011-520-8668
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績 (2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,533	0.3	29	93.0	30	9.9	23	98.3
2022年3月期第2四半期	1,528	△2.8	15	△82.6	27	△67.9	12	△76.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	11.44	—
2022年3月期第2四半期	5.77	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	7,535	3,629	48.2
2022年3月期	7,485	3,630	48.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 3,629百万円 2022年3月期 3,630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	3.7	120	94.8	150	91.5	100	36.5	47.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	2,089,200株	2022年3月期	2,089,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	—株	2022年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	2,089,200株	2022年3月期2Q	2,089,200株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当期第2四半期における経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響や世界的な物価の上昇の影響を受けながらも、景気は国内外共に停滞から少しずつ回復の兆しが見えてきました。日本国内におきましては、コロナ禍以前の経済活動に持ち直しつつあるが、新型コロナウイルス感染拡大の収束の目途は立たず、先行きについては依然として不透明な状況が続くものと予想されます。介護業界におきましても新型コロナ感染拡大、円安や原材料価格の高騰による運営コストの上昇が続き、経営不振傾向の中小事業者の休業・倒産が目立つ状態です。

当社有料老人ホーム事業については、前期に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止についての対応を継続しています。新型コロナウイルスワクチンの接種を早期に完了し、外部との接触を制限、消毒の徹底、職員各自の自粛促し等を行い、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めています。介護付き有料老人ホームは、施設入居中の顧客に対するサービス提供という業態である為、上記対策による売り上げへの影響は軽微です。住宅型有料老人ホーム2施設については、既存の外部事業者による居宅サービス利用が困難になった顧客について、当社通所サービス事業所の定員拡大により受け入れを行いました。これにより、感染拡大予防と通所サービス事業の売り上げ向上を同時に達成できました。

新規顧客獲得については、感染症対策を適切に行いながらの営業活動を継続しております。個別見学会や相談会等を行い、入居後につきましてもご入居者のニーズに応じた住み替えなどのきめ細やかな対応を行いました。結果、全施設平均入居率約90.7%を維持・確保いたしました。

以上の結果、当第2四半期における売上高は1,533百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益29百万円（前年同期比93.0%増）、経常利益30百万円（前年同期比9.9%増）、四半期純利益23百万円（前年同期比98.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は6,364百万円となり、前事業年度末に比べ71百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加によるものであります。固定資産は1,171百万円となり、前事業年度末に比べ21百万円減少いたしました。これは主に減価償却によるものであります。

この結果、総資産は、7,535百万円となり、前事業年度末に比べ49百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は894百万円となり、前事業年度末に比べ67百万円減少いたしました。これは主に未払金が減少したことによるものであります。固定負債は3,011百万円となり、前事業年度末に比べ118百万円増加いたしました。これは主に長期入居金預り金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は3,629百万円となり、前事業年度末に比べ1百万円減少いたしました。これは主に繰越利益剰余金の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は48.2%（前事業年度末は48.5%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,705,507	5,826,382
営業未収入金	441,014	422,492
商品	2,200	2,300
未収還付法人税等	17,293	-
その他	126,455	113,061
流動資産合計	6,292,471	6,364,237
固定資産		
有形固定資産		
リース資産 (純額)	306,108	292,945
その他 (純額)	216,351	212,861
有形固定資産合計	522,460	505,806
無形固定資産		
リース資産	29,243	23,704
その他	7,171	7,087
無形固定資産合計	36,414	30,792
投資その他の資産		
その他	636,449	636,835
貸倒引当金	△1,863	△1,863
投資その他の資産合計	634,586	634,971
固定資産合計	1,193,461	1,171,570
資産合計	7,485,932	7,535,807

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	-	16,400
入居金預り金	413,221	411,226
介護料預り金	41,449	41,125
賞与引当金	17,395	25,469
その他	390,310	300,727
流動負債合計	962,376	894,948
固定負債		
長期入居金預り金	2,078,375	2,204,533
長期介護料預り金	213,608	220,824
退職給付引当金	48,515	47,977
役員退職慰労引当金	44,931	46,754
その他	507,582	491,402
固定負債合計	2,893,013	3,011,492
負債合計	3,855,390	3,906,441
純資産の部		
株主資本		
資本金	686,296	686,296
資本剰余金	566,296	566,296
資本準備金	566,296	566,296
利益剰余金	2,377,949	2,376,772
利益準備金	3,855	3,855
その他利益剰余金		
別途積立金	384,000	384,000
繰越利益剰余金	1,990,094	1,988,917
株主資本合計	3,630,542	3,629,366
純資産合計	3,630,542	3,629,366
負債純資産合計	7,485,932	7,535,807

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	1,528,819	1,533,787
売上原価	1,346,247	1,342,325
売上総利益	182,572	191,462
販売費及び一般管理費	167,165	161,733
営業利益	15,406	29,728
営業外収益		
受取利息	119	155
受取配当金	12	12
受取手数料	2,105	2,352
受取賃貸料	6,943	8,803
寄付金収入	15,100	100
その他	2,776	2,573
営業外収益合計	27,056	13,996
営業外費用		
支払利息	13,461	12,570
長期前払費用償却	465	382
その他	1,000	500
営業外費用合計	14,926	13,453
経常利益	27,536	30,272
特別利益		
投資有価証券売却益	1,103	-
特別利益合計	1,103	-
税引前四半期純利益	28,639	30,272
法人税、住民税及び事業税	15,543	5,839
法人税等調整額	1,048	538
法人税等合計	16,592	6,378
四半期純利益	12,046	23,893

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、会計上の見積り（繰延税金資産の回収可能性、固定資産の減損判定、貸倒引当金）に与える影響は軽微であります。

当社は、新型コロナウイルス感染症拡大による経営環境への影響は、2022年度中は継続し、回復は早くても2023年度以降になると仮定しております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、次期以降の当社の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。